

## タウンニュース横須賀版でデュアルシステムが紹介されました

平成30年7月6日（金）発行のタウンニュース横須賀版にて本年度より開始した学校設定科目“水産デュアルシステム”が紹介されました。水産デュアルシステムとは、学校外の企業と協力体制を作り、実際の産業現場の実習を通して水産の専門職として必要な職業的資質・能力と態度を養うことを目的とした授業です。本校のデュアルシステムでは、1年間に渡る長期的な実習で他県では類を見ない取り組みです。今回の紙面では、3年生の蛭田 壮 くんが老舗マグロ問屋“西松”で行っている実習について取り上げられています。



海洋科学高等学校3年 蛭田壮くん

「流通過程を身近に 市場の入れも体験」  
 海洋科学高等学校の蛭田壮くんが実習に訪れる三浦市西松の老舗問屋「西松」は、1894年創業の老舗企業。買い付けや水揚げ、冷凍まぐろの加工・販売、マーケティングのほか、高級実習のサポートといった市場育成も手掛けている。  
 この日は朝から同社の主力商品のひとつである「鮮加ねまぐろ」の製造ラインを担当。白衣、エプロン、マスク、帽子、手袋などを手際よく身に付けて、工場へ向かうと先輩社員に混ざって黙々と作業を始めた。

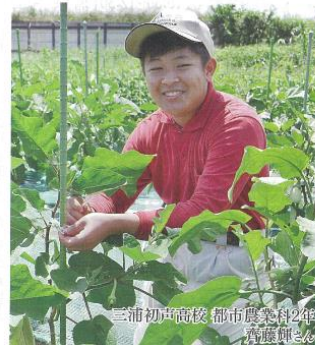
### 現場で学び、将来に活かす

学外実習に励む農業・水産専門科の高校生

「おいしい野菜ができて嬉しい。それが農業の楽しさ」笑顔が光る。菜園では鈴木さんから「酒樽自給で野菜を売りたい」との教えを受けた。「定番野菜を市場に出すことも農家として重要な仕事だが、ニスを合わせたものを提供したい」との想いが芽生えた。妻の畑の作物を手かきながら、祖母が急遽、後継ぎとしての責任感から強まった。今年の秋まで、かなって、自分の野菜を販売できれば。高校生リーダーがその先に掲げるのは「商品加工」未来の「産農人の自覚」からだ。

### 手掛けた「商品」食卓へ

直売や加工に意欲



三浦初声高等学校都市農業科2年 高橋順くん

横須賀版 No.577 2018年（平成30年）7月6日（金）発行

<https://www.townnews.co.jp/0501/2018/07/06/439516.html>

<https://www.townnews.co.jp/0501/2018/07/06/439514.html>

(URL をクリックすると、掲載ページに移動します。)